

●中登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No	頁	分類	具体的施策事業名	目標項目	施策数	担当課	数値・内容目標	達成年度の目標達成率	目標値	達成年度の目標値	KPIの現況値及び内容	同左数値の現況年度を明記	KPI(重要業績評価指数)実績				令和5年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の今後の方針などを明記
													令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
1	継続	29	企業誘致事業	地元企業による地元雇用採用人数	1	企画情報課	地元企業による地元雇用採用人数	R6年度	75人	75人	73人	H27~31年度	20人	12人	21人	22人	・雇用促進奨励助成金交付 町内に住所を有する正規雇用労働者を雇用した町内の企業に雇用促進奨励助成金の交付を実施した。 10社22名	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の今後の方針などを明記 KPI目標としては達成しているが、引き続き、企業誘致に関する問合せの対応や企業への各種助成制度のPRをし、地元雇用の促進を図りながら、地元雇用採用人数の確保に努める。
2	継続	30	創業支援事業	新規創業者の創出	1	企画情報課	新規創業者の創出25件	R6年度	25件	創業者:年間5件 年間約5件	H27年 5件 H28年 5件 H29年 6件 H30年 4件 R1年 4件	創業者数(補助金交付数):3件	創業者数(補助金交付数):4件	創業者数(補助金交付数):6件	創業者数(補助金交付数):4件	創業者数4件の業種内訳 ・飲食業:1件 ・情報サービス業:1件 ・その他サービス業:1件 ・屋根工事業:1件 主に、屋根工事業、林業、飲食業による新規の申請があった。	KPI目標数値:25件 令和5年度末時点累計:17件 KPI達成のため、支援制度周知や商工会との連携強化に努め、年間の創業者数増加につなげる。 現行制度はR6年で終了するため、来年度以降の制度内容の検討をしていく。	
3	継続	30	繊維産業活性化加速化事業	①織物オリジナル商品開発数 ②SDGs 開発目標の取り組み達成項目数	2	企画情報課	①歴史資源を活かしたオリジナル商品開発20点 ②SDGs開発目標の取り組み達成項目5項目	R6年度	①20点 ②5項目	R6年度までに①20点 ②5項目	①5点 ・キノール ・不動滝白装束 ・ネオ能登上布 ・ポップコーンウェア ・どぶろくアウト②の項目	R元年度	①27点 ②4項目 ※①は目標達成	①令和2年度で目標達成済 ②0項目	①令和2年度で目標達成済 ②0項目	①令和2年度で目標達成済 ②0項目	①の織物オリジナル商品開発数については、令和2年度の目標達成済み。②SDGs 開発目標の取り組み達成項目数については、令和4年度より町の出前講座にSDGsの知見を広める講座を実施することで町内への意識醸成を深めた。 ・SDGs出前講座1件(高齢者サロン:西馬場友ゆう会)	KPI達成のため、引き続き町内全域にもSDGsの普及に努める。
4	継続	30	農業の担い手確保・育成	認定農業者・農業法人設立数	1	農林課	認定農業者、集落営農組織、農業法人への転換・育成の支援	R6年度	個人経営から集落営農・農業法人への転換及び広域化への支援並びに新規就農者からの認定農業者・農業法人への育成	経営体数85	経営体数82	R元年度	78 (0)	73	72	71	更新:10経営体 変更:2経営体 新規:1経営体 取下げ:2経営体	高齢化による離農により、個人2経営体から取下げあり。今後は、認定就農者から認定農業者へ誘導し、認定農業者の増加を図る。
5	継続	30	新規就農者の確保・育成	新規就農者数	1	農林課	新規就農者の確保	R6年度	累計8人	R6年度までに累計8人	累計6人	R元年度	6 (0)	7 (1)	10 (3)	10 (0)	相談受付:1件	県やJAと相談者の情報を共有しながら、希望者に対し、計画書の作成をサポートし、引き続き新規就農につながるよう努める。
6	継続	31	どぶろく特区を活かしたまちづくり	濁酒製造業者数	1	企画情報課	どぶろく飲み比べのまちを目指して濁酒製造業者を3経営体創業者とする	R6年度	3経営体	R6年度までに3経営体 累計 5経営体	2経営体 太郎右衛門 さえさ	R元年度	0経営体	0経営体	0経営体	0経営体	令和5年度については、生産者の確保にはつながらなかったが、生産者を希望する方と支援策などを協議した。 【候補者2経営体】 能登やまびこ、二宮在住女性:インバウンド	KPI達成に向けて、中登町観光協会と連携しながら、どぶろく生産者候補者にヒアリングしてソフト面やハード面をどのように支援できるかを検討する。また第17回全国どぶろく研究大会開催に向けて、広くどぶろく特区・中登町の名を広げながら生産者確保につなげていく。
7	継続	31	特色ある農産物の産地化	特色ある園芸品目・カラー野菜の売上(年間)	1	農林課	道の駅直売所、中登直行便への園芸品目・カラー野菜の出荷量増加	R6年度	年間売上額2,000万円以上	年間売上額2,000万円以上の維持継続	R元年度に初めて年間売上額2,000万円を達成	R元年度	1093万円	1022万円	1060万円	974万円	生産農家数:42農家	昨年に引き続き、生産農家数は、横ばいではあったが、売上額は減少した。今後は、現況の状況を維持するとともに、被害ゼロに向けて電気柵の設置の指導や有害鳥獣の捕獲をより一層強化していく。
8	継続	31	有害鳥獣対策事業	有害鳥獣による農作物被害	1	農林課	有害鳥獣による農作物被害の抑制	R6年度	年間被害額100万円以下	年間被害額100万円以下の維持継続	R元年度に初めて年間被害額100万円以下を達成	R元年度	84万円	53万円	77万円	12万円	イノシシ捕獲頭数:成獣60頭、幼獣:78頭 捕獲用檻設置:45基 新規狩猟免許取得者:第一種銃猟1件、わな1件	県・町・農家が集まって集落点検を実施したことで被害を縮小させることができた。今後は、現在の状況を維持するとともに、被害ゼロに向けて電気柵の設置の指導や有害鳥獣の捕獲をより一層強化していく。

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No	頁	分類	具体的施策 事業名	目標項目	施策数	担当課	数値・内容目標	達成年度	目標値 目標内容	達成年度の設定	目標内容の 現在の数値・内容	同左数値の 現況年度を明記	KPI(重要業績評価指数)実績				令和5年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の 今後の方針などを明記	
													同左数値の 目標達成年次	同左目標達成 の数値・内容	KPI提案	KPIの現況値 及び内容			同左現況値の 年次
9	継続	32	ひと	移住定住促進事業	定住促進奨励金を活用した移住者及びUターン者数	1	企画情報課 移住者数 250人 (各事業対象者と一緒に転入した同世帯の者を含む)	R6年度	250人	R6年度までに、移住者及び250人(各事業対象者と一緒に転入した同世帯の者を含む)	移住者 244人	H27年 41人(定住奨励金40人、空き家バンク賞賛0人) H28年 37人(定住奨励金33人、空き家バンク賞賛4人) H29年 38人(定住奨励金36人、空き家バンク賞賛2人) H30年 64人(定住奨励金62人、空き家バンク賞賛2人) R1年 71人(定住奨励金70人、空き家バンク賞賛1人)	H27~31年の来訪者平均 274,000人 成功事例0件	①申請件数:46件 ②転入者数:70人 (転入者内訳) ・移住者:68人 ・Uターン:2人	①申請件数:55件 ②転入者数:78人 (転入者内訳) ・移住者:66人 ・Uターン:12人	①申請件数:36件 ②転入者数:39人 (転入者内訳) ・移住者:29人 ・Uターン:10人	①申請件数:43件 ②転入者数:96人 (転入者内訳) ・移住者:95人 ・Uターン:1人	町ホームページをはじめ、七尾市、羽咋市と移住連携している「能登地域移住交流協議会」での事業において、各種パンフレットやホームページ、移住フェアを通じ、制度の周知を図りながら、昨年度より2.5倍となる転入者増となり定住促進につなげた。  ●転入者数 57人増(定住促進奨励金活用分) ・県外・金沢からの転入 6件(昨年度4件増) ※うち、4件が子どもがいる世帯	昨年度より、制度の申請件数は増加となり、県外・金沢からの転入者件数も増加した。その要因として、昨年度から能登地域移住交流協議会で取組んでいる「保育園留学」の取組みをアピールしている影響もあると考えられる。また、制度の奨励金額でも「子育て加算」が強みとなって制度の活用につながったのではないかとと思われる。 引き続きKPI達成に向けて、子育てにやさしい中能登町の強みを活かしながら、潜在機会の創出で中能登町の魅力を発信し定住につなげる。
10	継続	32	ひと	宅地造成事業の推進	「新良川駅東」の残区画の販売	1	土木建設課 「新良川駅東」の残3区画の販売	R2年度	3区画	R2年度	5区画	R元年度	3区画(完売)	目標達成 0区画	目標達成 0区画	目標達成 0区画	目標としていた区画は達成しているが、令和5年度は、能登部下地内の分譲宅地造成事業「上布の郷」(12区画)の販売を行い、完売となった。	引き続き、春木地内において、新たな分譲宅地造成事業を進め、定住促進を図る。	
11	継続	32	ひと	町営住宅の更新	町営住宅の建替え戸数	1	土木建設課 町営住宅建替え 30戸	R6年度	30戸	R6年度までに30戸	5戸	R元年度	0戸	0戸	0戸	0戸	「(仮称)たきお住宅」の建築工事に着手し、15戸が完成した。	残戸数15戸と区画内の舗装工事等を進め、令和6年度内の完成を目指す。	
12	継続	33	ひと	巻き込み・関係人口プロモーション事業	①体験交流ツアーの実施回数 ②まちコンシェルジュ人材育成人数	2	企画情報課 ①体験交流ツアーの実施回数 ②まちコンシェルジュ人材育成人数	R6年度	①体験交流事業年2回実施 ②まちコンシェルジュ人材育成人数 10人(累計)	体験交流年2回実施 まちコンシェルジュ人材 R2-R6年度累計 10人	—	—	①33回 ②29人	①2回 ②1人	①7回 ②0人	①12回 ②1人	能登地域移住交流協議会(七尾市・羽咋市・中能登町)で企画した保育園留学ツアーほか親子向けや国民文化祭関連連インバウンドツアーを実施した。 ①保育園留学ツアー(移住体験) ・能登地域移住交流協議会 7世帯(7月~12月) ※7世帯29人参加(家族含めて) 保育園:つくし・こすもす保育園 お宿:喜屋、結舎で滞在 ②国民文化祭3ルーツ展ツアー 1回(R5.11月) ※地元在住の外国人 20人参加 ③どぶろく神社巡りツアー 1回(R5.11月) 能登比め神社、能登部神社、天日陰比め神社 どぶろく生産者との交流(太郎右衛門、まる) ※県内 25人参加 ④キモノ体験講座ツアー 1回(11月) 参加者15名 ⑤スローツーリズム協議会ツアー2回(3月) ●親子でかかし作り体験ツアー(旧久江小) R5.7.30開催 参加者 7組20人 ⑥古民家再生の宿とかぶら寿司加工体験ツアー インバウンド家族17名受入 (能登やまびこ、えにし屋)	単年度のKPIは目標達成していることに加えて、広域連携ツアー、スローツーリズム協議会、中能登町のツアースタイルが確立しつつある。今後も通年もしくは四季折々の安定的なツアー実施を企画しつつ、スローツーリズム協議会が主体となって新たに、「震災語り部ツアー」も実施する予定で、能登の歴史を伝えるコンテンツとして、各種団体を後押ししていく。 (新ツアー候補) ・震災語り部ツアー	
13	継続	33	ひと	ICTを活用した魅力ある観光推進事業	①観光施設等の来訪者数 ②ICT活用の成功事例件数 ③デジタル支援員の育成数	3	企画情報課 ①町内の観光施設等の来訪者数約10%引上げ ②成功事例3件を目指す ③デジタル支援員の育成10人	R6年度	①300,000人 ②累計 3件 ③累計 10人	①300,000人 ②累計 3件 ③累計 10人	H27~31年の来訪者平均 274,000人 成功事例0件	H27~31年	①187,317人 ②0件 ③19人 ※③は目標達成	①208,313人 ②1件 ③2人 ※③はR2年度で目標達成	①227,072人 ②5件 ③3人 ※③はR2年度で目標達成	①221,591人 ②2件 ③3人 ※③はR2年度で目標達成	①前年度比の3%減となったが、少しずつ能登訪問の入込が回復していることを感じる。 ②ICTの活用事例 11月 旧久江小を活用した謎解きイベント「クエクエスト」_石川工業専門学校などと連携100人参加 3月 親子デジタル体験イベント 旧久江小を活用 児童11人参加 デジタルペイント、ドローンプログラム、AI技術  ・ICT推進団体 NPO法人「なかのとカラー」が法人登録社員10人 ③R2年度で目標達成済み	KPI目標達成に向け、スローツーリズム協議会、観光協会の地元団体をはじめ、新団体「なかのとカラー」、北陸先端科学技術大学院大学、鹿西高校とも連携してデジタルを活用して町の魅力を伝える取組みを実施する。 ■実証予定 ・どぶろく熱度共同研究 (北陸先端科学技術大学院大学と連携)	

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No	頁	分類	具体的施策 事業名	目標項目	施策数	担当課	数値・内容目標	達成年度	目標値 目標内容	達成年度の設定	目標内容の 現在の数値・内容	同左数値の 現況年度を明記	KPI(重要業績評価指数)実績				令和5年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の 今後の方針などを明記
													令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
14	新規	33	ひと	外貨を稼げる魅力イベント推進事業	全国からも注目されるイベントの開催回数(年間)	1	企画情報課 町の魅力と外貨をかせげるイベントの毎年開催	R6年度	年間2回開催 関係人口 年間10,000人 (ワドキP目標値)	年間2回開催 関係人口 年間10,000人 (ワドキP目標値)	-	-	1回	3回	2回	5回	10月26日のどぶろくの日やどぶろく祭りに併せて、近隣の特区自治体のどぶろくの飲み比べをする「どぶろく利き酒交流会」を初開催したほか、国民文化祭「いしかわ百万石文化祭2023」を実施した。  ①どぶろく利き酒交流会 R5.10.26 30人 ②どぶろく祭り R5.12.16 300人 (①、②とも天日陰比め神社)  ③いしかわ百万石文化祭2023 ・おにぎりルーツ展(ふるさと創修館) 2604人 10/15-11/26 ・どぶろくルーツ展(天日陰比め神社) 653人 10/26,11/1-11/26 ・異彩なアート展(カルチャーセンター飛翔) 729人 11/7-11/25	KPI目標達成に向け、関係団体とも引き続き連携して中能登町の魅力を発信できる新たなイベントを企画し全国から集客できるイベントを創出していく。 (全国規模集客イベント予定) ・全国どぶろく研究大会(中能登町会場)
15	新規	33	ひと	中能登ファンを獲得するふるさと納税魅力発信事業	ふるさと納税額	1	企画情報課 納税額 毎年約30%アップ R2 6,000千円 R3 8,000千円 R4 10,000千円 R5 12,000千円 R6 14,000千円	R6年度	15,000千円	15,000千円	5,000千円	R元年度	13,327,142円 (260件)	13,015,000円 (247件)	6,781,000円 (224件)	98,962,860円 (16,918件) ※参考 4月～12月: 8,513,000円 (229件) 1月～3月: 90,449,860円 (16,689件)	・民間のホームページを、積極に追加して、中能登町のふるさと納税を推進しファン獲得に努めた。 1月の地震により、災害支援寄附・全国の自治体による代理寄附による実績があった。 さとふる、ふるさとチョイス、ふるなび、楽天、JRE、ANA、dショッピング、マイナビ ●新たに追加したサイト ANA・dショップ・マイナビの3サイトを追加。	KPI目標としては達成しているが、令和5年度の実績としては、震災以降の寄附が90%を占めていたことから、今回の寄附者の思いを大事にしつつ、復興に向けて応援いただける方に引き続き寄附いただけるよう、民間サイトの充実を図りながら中能登町の魅力発信をしていく
16	継続	34	ひと	誰もが輝けるファッションのまちづくり事業	ファッションショーの開催回数(年間)	1	企画情報課 誰もが輝けるユニバーサルファッションショーの毎年開催	R6年度	年間1回	年間1回	斬新なファッションショー1回 切斯ヴィーナスショー	R元年度	0回	0回	0回	0回	大衆が集まる町祭などのイベントが中止となり、ファッションショーの開催ができなかった。	KPIの目標達成に向けて、瀬戸地内に完成した着物リメイク拠点「キモノール」と連携しながら、大型ショッピングセンターなどの人流が行き交う場所で開催予定。
17	継続	子育て環境	ひと	鹿西高校魅力向上支援事業	町内出身者の鹿西高校進学者数	1	企画情報課 毎年、町内出身者の鹿西高校進学者20人増を目指す	R6年度	50名 R2-R6の5年間平均値	R6年度までに20人増 累計50人平均	入学者数 30名 H27-R1の5年間平均値	R1年度	28名	21名	18名	25名	鹿西高校の魅力化を図るため、文部科学省の進める「総合的な探究の時間」を活用した生徒育成プロジェクトとして推進した。 (探究テーマ) [1年生]能登の魅力を持続可能な社会づくりを考える [2年生]課題解決でふるさと愛スイッチON [3年生]SDGs×自己×地域社会 →「持続可能な社会の創り手」を育成	引き続きKPI目標達成に向けて、高校や地域の方とも連携しながら、探究の時間やおにぎりコンクールの事業の、高校独自の取組みの魅力を推進しながら、連携していく。
18	継続	35	子育て環境	結婚推進事業	①結婚推進事業による成婚数 ②出会いの場の創出(年間) ③出会い、結婚プランナーの育成数	3	企画情報課 ①推進事業での成婚20組 ②出会いの場創出2回/年 ③プランナーの育成10人	R6年度	①20組 ②2回/年 ③10人(累計)	①年間4組 ②2回/年 ③10人 (R2-R6累計)	H27年 4組 H28年 3組 H29年 3組 H30年 2組 H31年 1組	H27~31年度	①3組 ②0回 ③9人	①3組 ②0回 ③0人	①3組 ②1回 ③5人	①1組 ②0回(中止) ③0人	①結婚推進員による成婚実績。 ・成婚1組 ※相談件数224件 ②若者等縁結び出会いの場創出推進事業 美をテーマとした出会いの場イベント0回 (地震により中止) ・魅力アップセミナーの開催 ・婚活イベントの開催 ・交流イベント(発酵食の魅力取り入れた内容) ③出会いサポートセミナー 結婚推進員、出会いサポート応援企業対象 (3月中旬 地震により中止)	KPI目標20組(R2-R6)に対して現在、成婚数50%となっているが、最終年度は、KPI目標達成に向けて、地元企業とも連携しながら、出会い機会のイベントの開催数を増やし、婚姻推進につなげたい。

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No	頁	分類	具体的施策 事業名	目標項目	施策数	担当課	目標					KPI(重要業績評価指数)実績				令和5年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の 今後の方針などを明記	
							達成年度	目標値 目標内容	達成年度の設定	目標内容の 現在の数値・内容	同左数値の 現況年度を明記	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
19	継続	36	子育て環境 不妊症治療費の助成	不妊治療者の妊娠届出数	1	健康保険課	不妊治療者の妊娠届出数について、R2～R6の5年間で50件を目指す(1年間あたり10件)。	R6年度	不妊治療者の妊娠届出数について、R2～R6の5年間で50件を目指す(1年間あたり10件)。	50件	33件	平成27～30年度の合計件数	50件	21件	助成件数 特定不妊治療16件 一般不妊治療3件 生補補助医療12件 先進医療14件(助成実人数18件) 妊娠届出数9件	助成件数 特定不妊治療1件 一般不妊治療7件 生補補助医療11件 先進医療8件(助成実人数15件) 妊娠届出数8件	助成件数は、特定不妊治療1件、一般不妊治療7件、生補補助医療11件、先進医療8件(助成実人数15件)であった。令和4年4月より特定不妊治療(生補補助医療)についても、保険適用となった。町の助成制度についても改定を行い、治療を希望する方が経済的負担で治療を断念することなく、すべての方が受けられるようにした。	目標値は達成されていないが、助成制度の見直し、不妊・不育相談「ふたば」を開設するなどし、治療を希望する方への支援を行えた。助成対象のうち、50%の妊娠につながったことは大きな成果である。今後も継続し、支援していくこととする。
20	継続	36	子育て環境 不育症治療費の助成	不育治療者の妊娠届出数	1	健康保険課	不育症治療者の妊娠届出数1件(R2～R6年間で)	R6年度	不育症治療者の妊娠届出数1件(R2～R6年間で)	1件	0件	平成30年度	0%	0%	1件	1件	不育症治療助成件数1件	不育症治療助成を行い、妊娠に至った。今後も引き続き適切な治療が受けられるように事業を継続していきたい。
21	継続	36	子育て環境 出産祝金	出産祝金申請数(年間)	1	健康保険課	100人を目指す。	R2年度	100人→60人(計画期間平均)	100人→60人(計画期間平均)	出産祝金申請件数 H27 102人 H28 126人 H29 112人 H30 81人	H27～30年度	85人	86人	81人	56人	●出産祝金支給事業 ①第1子 17人 ②第2子 20人 ③第3子 16人 ④第4子 2人 ⑤第5子以降 1人	全国的な人口減少、少子化の流れにより、出生数の減少は加速化している。今後もしぼらばこの傾向は続くと思われ、当初のKPI目標の達成は困難な状況にある。今後は、現KPI目標値を60人と大幅に下方修正して、引き続き、少子化対策に向けて子育て環境の充実に取り組む
22	新規	36	子育て環境 妊産婦健康診査事業	妊産婦健康診査受診率	1	健康保険課	95% 妊産婦健康診査受診率	令和6年度	95%	95%	90.4%	平成30年度	100%(初回受診率)	100%(初回受診率)	100%(初回受診率)	100%(初回受診率)	妊娠届出時の面談にて妊婦健診の受健方法とその必要性を丁寧に説明した。	今後も引き続き、妊婦すべてが健診を受けられるようにする。
23	新規	36	子育て環境 乳児家庭全戸訪問事業	乳児家庭全戸訪問実施率	1	健康保険課	100% 乳児家庭全戸訪問実施率	令和6年度	100%	100%	98.80%	平成30年度	99%	100%	100%	100%	対象者すべての家庭訪問を実施できた。	引き続き、訪問を実施しすべての方が、安心して子育てができるよう、支援を行っていきたい。
24	新規	36	子育て環境 乳幼児健康診査事業	乳幼児健康診査受診率	1	健康保険課	95.0% 乳幼児健康診査受診率	令和6年度	95.00%	95.00%	98.80%	平成30年度	98.90%	100%	100%	95.67%	希望するすべての対象者が受健できるようにした。未受健者には電話訪問などを行い受健につなげた。	引き続き、対象者すべてが受健できるようにしていく。
25	新規	36	子育て環境 子ども家庭総合支援拠点事業	子ども家庭総合支援拠点の設置と機能強化	1	健康保険課	拠点1か所 人員2人	R3年度	拠点1か所 人員2人	拠点1か所 人員2人	設置無し		令和3年2月 拠点1か所 設置	令和3年2月 拠点1か所 継続(人員1名)	令和3年2月 拠点1か所 継続 子ども家庭支援員1人(会計年度任用職員)を配置。その他、児童担当職員が業務で拠点業務を行った。	令和3年2月 拠点1か所 継続 子ども家庭支援員1人(会計年度任用職員)を配置。その他、児童担当職員が業務で拠点業務を行った。	0～18歳までの子どもとその家庭や妊産婦等を対象としたワンストップの相談窓口として、各ライフステージの悩みに対応した必要な支援に係る業務を行った。 ●相談窓口 愛称「kotona」 ・「ふたば」→不妊・不育相談 ・「にじいろ」→発達相談 ・「tunagu」→不登校相談 月に2回、「kotonaだより」にて情報発信し、子どものいる家庭へ応援メッセージを届けている。以上の取組みを通じて、地域で、安心して子育てができるよう相談対応に努めた。	行政サービス庁舎内に、拠点1か所を継続し、業務ながらも必要人員を配置して、子どもとその家庭や妊産婦等に対して丁寧な支援を行うことで、子育てサポートの充実につながっている。令和6年度以降は、サポート機能を強化した「子ども家庭センター」へ移行して子育てにやさしい町を実感できる町を目指す。
26	継続	37	子育て環境 三世代ファミリー同居促進事業	三世代の同居・近居に対する助成件数(年間)	1	健康保険課	年間3件。累計10件。	R6年度	累計10件。	年間3件。			0件		令和3年度に制度廃止	令和3年度に制度廃止	令和3年度に制度廃止	令和3年度に制度廃止

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No	頁	分類	具体的施策 事業名	目標項目	施策数	担当課	数値・内容目標	達成年度	目標値 目標内容	達成年度の設定	目標内容の 現在の数値・内容	同左数値の 現況年度を明記	KPI(重要業績評価指数)実績				令和5年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の 今後の方針などを明記	
													令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
27	新規	37	子育て 環境	時代に即した教育の実施	ICT 端末の整備	1	学校教育課 児童・生徒1人1台 端末の整備	R4年度	児童・生徒1人1台 端末の整備	児童・生徒1人1台 端末の整備	電子黒板:小学校27台、 中学校6台、タブレット: 小学校120台、中学校40台	R1年度	全ての児童・生徒1人1台 端末を整備  電子黒板:小学校13台、 中学校9台、タブレット: 小学校850台、中学校475台 整備	令和2年度に整備済	令和2年度に整備済	令和2年度に整備済	令和2年度に整備済	電子黒板の導入が計画どおり整備できた。	ICTを活用した学習が進むよう必要な学習環境を整備する。
28	継続	37	子育て 環境	町立保育園再編検討事業	町立保育園再編計画の策定	1	健康保険課 保育園再編検討委員会を開催し、再編計画を策定する。	R6年度	町立保育園の統合・民営化	町立保育園の統合・民営化	町立保育園 5園		町立保育園の統合・民営化に向けて再編計画を協議中	町立保育園の統合・民営化に向けて再編計画を協議中	町立保育園の統合・民営化に向けて再編計画を協議中	町立保育園の統合・民営化に向けて再編計画を協議中	町立保育園の統合・民営化に向けて再編計画を協議中	町立保育園運営検討委員会を開催(11/29、12/21)し、町立保育園の「あり方」について検討した。	引き続き町立保育園運営検討委員会により検討を行い、令和6年度中に町立保育園の再編計画を策定する予定。
29	新規	38	子育て 環境	中能登町の男女が幸せになる普及促進事業	①第3期男女共同参画行動計画の策定 ②普及イベント開催数(年間) ③生産年齢人口数(新規)(15~64歳)	3	企画情報課 ①第3期男女共同参画行動計画の策定 ②普及イベント開催数 ③生産年齢人口数(15~64歳)	R6年度	①第3期男女共同参画行動計画策定(R2年度目標) ②普及イベント開催数 2回/年 ③生産年齢人口数(15~64歳) 8,200人	R6年度までに ①第3期男女共同参画行動計画策定 ②普及イベント開催数 2回/年 ③生産年齢人口数(15~64歳) 8,200人	①第2期行動計画策定済 ②2回 *講演会、料理教室 38,580人(R1) (年齢別人口集計票:9,517人)	R元年度	①令和3年3月策定済 ②0回 ③9,139人(R.3.3.31時点)	①令和3年3月策定済 ②4回 ③8,921人(R.4.3.31時点)	①令和2年度で目標達成済み ②2回 ③8,092人(年齢別人口集計票:8,758人 R5.3.31時点)	①令和2年度で目標達成済み ②2回 ③7,915人(統計) (年齢別人口集計票:8,671人 R6.3.31時点)	①令和2年度で目標は達成したが、引き続き策定した行動計画に基づき行動計画内のKPI達成に向けての事業を実施。9月に各課の取組みのKPIについて審議会にて効果検証を行った。 ②町男女共同参画推進員の会主催による男女共同参画の啓発、普及イベントを実施した。 -親子料理教室 8組16人参加 -ふれあいまさなアート展 11月19日実施 平和堂アル・プラザ鹿島 男女共同参画啓発、町女性芸術家によるアートパ フォーマンス 他)約200名参加 -探究事業普及ワークショップ(9月、11月) 女性協議会会員アンケート、ワークショップを実施 23名参加	①と②事業は、KPI達成しているが、③については、昨年度比較で177人減少している。今後は、多様な年代が活躍できる事業を展開するため、企業、学校、地域へのアプローチを進め、男女共同参画推進員の会が先頭立って、男女が幸せになる普及促進に努める。	
30	継続	39	地域	古民家・土蔵活用事業	古民家の活用軒数	1	企画情報課 古民家・土蔵の活用件数	R6年度	累計5軒	R6年度までに5軒	5軒 みおやの里 旧丹後部 アズマの百笑宿 織姫の宿つるぎ 鶴津道中の宿	5軒	1軒 喜屋	0軒	1軒	1軒	中能登町で古民家を活用したカフェやゲストハウスオープン。 -古民家の宿にし屋 (良川地内)宿泊業 6月	KPI目標達成に向けて、移住希望者の一時滞在や保育園留学などの宿泊場所として、町創業者補助金などの制度を活用して古民家の活用件数を増やしていきたい。 (候補物件) 【令和6年度実績予定】 ●フランス料理店 メッソモ(東馬場) ●地域おこし協力隊 南谷愛美(能登部上) ゲストハウス開業に向けて活動中	
31	継続	40	地域	公共施設利活用事業	個別施設計画の策定	1	総務課 個別施設計画の策定	R6年度	個別施設計画の全施設分の策定完了(大分類19分類)	-	大分類の4分類策定済(子育て支援施設、橋梁、下水道施設、水道施設)	R元年度	大分類の8分類策定済(社会教育、子育て支援、行政、供給処理施設、道路、橋梁、上水道施設、下水道施設)	大分類の6分類策定済(町民文化、スポーツ、学校、公営住宅、公園、その他)	大分類の2分類策定済(産業、保健・福祉)	実績無し	計画策定の協議を行ったが、能登半島地震により作業が停止となった	能登半島地震を踏まえ、個別施設計画の見直しを実施する。	
32	継続	40	地域	旧学校施設の利活用	旧学校施設の施設利用の決定	1	学校教育課 施設利用の決定/(3施設)	R6年度	施設利用の決定/(3施設)	旧島屋中学校、旧鹿西中学校、旧久江小学校の利活用の決定	3施設	R1年度	3施設のうち1施設の利活用決定(旧鹿西中学校)	残る2施設について利活用を検討する。	残る2施設について利活用を検討する。	残る2施設について利活用を検討する。	残る2施設(旧島屋中、旧久江小)について利活用を検討した。 現在は、旧島屋中学校は文化財等が保管されている。旧久江小学校は主に地域活動の拠点として利用されている。久江小:かかしの郷プロジェクト	引き続き、2施設について利活用の検討を進める。	
33	新規	40	地域	図書館統廃合事業	①図書館の集約 ②図書館入館者数(改修後)	2	生涯学習課 ①鹿島図書館を町立中央図書館1館とする。 他2図書館は利用者の読書空間を維持できるように施設の在り方を検討。 ②入館者数(改修後)	令和3年度	①鹿島図書館、旧保健センターの改修基本構想を検討する。鳥屋・鹿西図書館施設の方向性を他課とも協議。 ②入館者数(改修後) 144,000人	①3施設から1施設に集約する。 令和2年度中に実施設計を行う。 ②入館者数(改修後) 144,000人	①図書館3施設 鹿島図書館、旧保健センターの改修基本構想を検討。 ②入館者数 103,948人 (鳥屋・鹿島・鹿西)3館合計	令和2年度	①1施設集約 ②19,624人	②25,136人	②104,320人	②115,857人	広報なかのとやケーブルテレビで図書館情報を周知しながら入館者数の増加に努めた。 R2 19,624人 R3 25,857人 R4 104,320人 R5 115,857人	入館者数については、図書館集約後右肩上がりが増加しているが、KPI達成目標には達していない。今後は目標達成に向けて図書館の魅力をもっとアピールしながら、入館者数増に努める。	

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No	頁	分類	具体的施策 事業名	目標項目	施策数	担当課	目標					KPI(重要業績評価指数)実績				令和5年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の 今後の方針などを明記		
							達成年度	目標値 目標内容	達成年度の設定	目標内容の 現在の数値・内容	同左数値の 現況年度を明記	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
34	継続	40	地域	町ホームページ を活用した 地域情報の発信	ホームページの アクセス件数	1	企画 情報課	年間約792,000件 月平均 約66,000件	R6年度	年間約792,000件 月平均 約66,000件	年間約12,000件の 増 月平均 約1,000件の増	年間約780,000件 月平均 約65,000件	R1年度	年間 約1,050,000件 月平均 87,500件	年間 約996,000件 月平均 83,000件	年間 約681,600件 月平均 56,800件	年間 約1,536,000件 月平均 128,000件	利用者の利便性の向上を図るため、掲載内容の 確認を行い、正確な情報発信に努めた。	令和6年1月1日発災の能登半島地震の避難所情報、 生活インフラ情報などの緊急情報発信を行ったため、 KPI目標達成の数値を大きく上回るアクセス数となっ た。今後も正確、迅速な情報発信に努める。
35	継続	40	地域	観光・防災 WiFi環境の整備	観光・防災Wi-Fi 環境の整備箇所 数	1	情報推 進課	9ヵ所	R6年度	累計9ヵ所	5ヵ所整備 ・旧鹿西中学校(= 行政サービス庁舎 横の鹿西体育館) ・中能登中学校 ・ラピア鹿島 ・町社会福祉センター ・カルチャーセン ター-飛翔	累計4ヵ所 ・道の駅 ・石動山資料館 ・雨の宮 ・不動滝	R1年度	0ヵ所の未整備	1箇所 ラピア鹿島 観光・防災用W ifi環境の整備	0箇所	0箇所	整備箇所 0箇所 主要な観光施設や防災施設の一部は整備済	今後は、観光施設・防災拠点・避難所となっている公 共施設へのWiFi整備の必要性を担当課と協議し て、利用者の利便性の向上を図っていききたい
36	継続	41	地域	空き家対策事業	①空き家バンク 成約件数(年間) ②空き家判定件 数	2	企画情 報課	空き家対策協議会 による空き家審議件 数 空き家バンクでの契 約成立	R6年度	成約成立25件 判定件数20件	成約成立5件/年 判定件数4件/年	成約成立 5件/年 判定件数 —	H27~31年度	①13件 ②0件	①14件 ②0件	①13件 ②0件	①14件 ②1件	町ホームページの内容充実や七尾市、羽咋市と 移住連携している「能登地域移住交流協議会」 での事業において、各種パンフレットやホーム ページ、移住フェアなどを通じて、これまで以上 に積極的に制度の周知を図り、空き家の紹介や 有効活用の方法などを紹介した。通行に危険と 判断された特定空き家の認定を1件行った。	引き続き、能登地域移住交流協議会とも連携しなが ら、町内地区へ制度の周知を図り、町内地区や移住プ ランナーとも連携しながら、空き家物件の登録や成約 につなげる。
37	継続	41	地域	通学路の 安全点検の実施	通学路安全合同 点検の実施	1	学校教 育課	通学路の安全合同 点検の実施と協議 会の開催	R6年度	通学路安全合同点 検を実施し、改善で きる箇所は対応して いく	毎年、通学路安全 合同点検を実施し、 改善できる箇所は 対応していく	3小学校の通学路安 全合同点検の実 施、中能登町通学 路安全推進協議会 の開催、中能登町 通学路安全プログ ラムの公表	R1年度	通学路安全合 同点検を実施 した。	通学路安全合 同点検を実施 した。	通学路安全合 同点検を実施 した。	通学路安全合 同点検を実施 した。	3小学校及び中学校から提出された通学路点検 箇所について、通学路安全合同点検を夏季休業 中に実施した。 中能登町通学路安全推進協議会を10月に開催 し、改善箇所の報告、確認を行った。	今後も毎年、通学路合同点検を実施し、改善できる箇 所について対応する。
38	継続	41	地域	基幹道路の整備	災害時の代替道 路の整備路線数	1	土木建 設課	起点側 L=460mの整備 終点側 L=200mの整備	R6年度	起点側 L=460mの整備 終点側 L=200mの整備	R6年度まで全線開 通	一部供用	R元年度	起点側 L=0m 終点側 L=0m 事業計画策定 済	起点側 L=0m 終点側 L=0m 用地買収 N=2筆	起点側 L=0m 終点側 L=0m 水路工 L=84m (緑越)	水路工 L=379m 盛土工 V=115m3 (R6緑越)	地方創生道整備推進交付金事業を活用し、道路 改良工を発注する。(緑越事業)	R9年度開通に向けて事業進捗を図る。
39	継続	41	地域	生活道路の整備	道路の狭隘区間 解消数	1	土木建 設課	道路改良 10路線	R6年度	15路線	年間 2路線	3路線	R元年度	3路線実施	2路線実施	3路線実施	2路線実施	道路の狭隘区間工事を2路線実施した。	引き続き、狭隘な生活道路の改良工を行い、地域 住民の利便性を図り、安心安全な生活環境を目指 す。
40	継続	41	地域	交通安全防犯灯 施設整備事業	防犯灯の設置数	1	総務課	LED街灯の設置 町管理:1,300基 地区管理3,000基 計:4,300基	R6年度	4,300基	年間200基	3,321基	R元年度	新規設置27基 更新264基	新規設置10基 更新105基	新規設置20基 更新28基	新規設置11基 更新20基	区長に対し、地区防犯灯事業費補助金交付要綱 の周知を行い、LEDへの更新や新規設置の要望 に対応した。	防犯の観点から、引き続き各地区へ周知を行う。
41	継続	41	地域	消防・防災等 災害対策事業	地区防災力の強 化及び防災士の 配置	1	総務課	防災士の増員 232人	R6年度	232人	年間15人	157人	R元年度	新規取得者 30人 防災士総数 185人(累計)	新規取得者 29人 防災士総数 213人(累計)	新規取得者 14人 防災士総数 228人(累計)	新規取得者 20人 防災士総数 248人(累計)	更なる地区防災の強化のため、地区へ防災士資 格の取得要請とスキルアップ研修を実施した。	今後も、災害時において避難所運営のリーダーとして 活躍できるよう、地区との連携強化を図れるよう推進 していく。

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No	頁	分類	具体的施策 事業名	目標項目	施策数	担当課	目標					KPI(重要業績評価指数)実績				令和5年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の 今後の方針などを明記		
							数値・内容目標	達成年度 同左数値の 目標達成年次	目標値 同左目標達成 の数値・内容	達成年度の設定	目標内容の 現在の数値・内容	同左数値の 現況年度を明記	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	
42	継続	41	地域	災害に強い 町づくりの推進	耐震改修実施戸 数	1	土木建設課	耐震改修実施戸数 10戸	R6年度	10戸	年間 2戸	5戸	R元年度	0戸	3戸	1戸	1戸	広報なかのどに耐震改修の補助金を掲載し、耐震住宅相談会を実施し、大切な生命と財産を守るため耐震改修の啓発を行った。	住宅リフォーム時に併せて耐震改修工事を行うよう、リフォーム会社へ町ホームページ等により広く周知し、KPI達成を目指す。
43	継続	42	地域	地域福祉の推進	地域福祉座談会 の実施	1	中能登町社会福祉協議会	1年間に6地区で地域福祉座談会を実施する。基本的には、1地区で2回開催する。R2～R6年も地域を回り、地域福祉の課題を今後継続して実施する。将来は全地区を網羅する。	R2年度	30地区	年間6地区	R元年度は良川沖・地頭・北、在江地区で実施した。 進捗割合:24/62 町内会	R元年度	0地区	1地区	14地区	10地区	地域福祉推進チームを対象とした「福祉見守りマップ作り」を実施し、マップから見えてくる支えあいの実態や課題を共有し、解決方法をチームで探りながら仕組みづくりに向け取り組みを進めている。この活動により、地域福祉推進チームの強化につながっている。 ・実績10地区	引き続き、地域福祉推進チームを対象とした「福祉見守りマップ作り」を開催できるよう、チラシ等を作成し周知する。マップ作りをすることで、地域の生活課題や福祉課題が明らかとなるため、今後も、見守り活動の強化や解決策に向けた話し合いや仕組みづくりの場となるよう「福祉見守りマップ作り」を推進していく。
44	新規	42	ひと	日本語教育事業	①日本語教室の 開催数 ②日本語教室の 参加者数	2	生涯学習課	日本語教室開催及び参加者 累計200人	令和6年度	「日本語クラス」年12回 「多文化共生クラス」年12回 累計平均200人	令和6年度までに「日本語クラス」60回 「多文化共生クラス」160回 累計平均200人	「プレ教室」年10回 「多文化共生イベント」年2回 ・20人	令和元年度	①開催16回/ 年 ②参加者 延べ340名	①開催11回/ 年 ②参加者 延べ204名	①開催22回/ 年 ②参加者 延べ365名	①開催18回/ 年 ②参加者 延べ340名	9月の防災訓練や11月の国民文化祭など、町のイベントに参加する教室を展開するなどしていたが、令和6年能登半島地震により日本語教室の建物が被災したため1月教室を中止。3月末日まで教室となる施設が利用できなかったため、2月以降は企業の実習生を対象としたオンラインによる日本語教室等を企画したが参加希望がみられず見送りとなった。 その他、日本語教室の参加者増加を目的に3月に多文化交流イベントを企画していたが、同じく地震の影響により中止となった。	地震により中止となった多文化交流イベントをR6年度に実施し、参加者数の増加を目指す。
45	新規	42	地域	コミュニティ スクールの開校	コミュニティス クールの開校数	1	学校教育課	4校の開校	R6年度	4校の開校	R6年度までに、各小中学校で、コミュニティスクールを開校する	0校	R1年度	0校	0校	0校	2校	モデル校2校(鹿西小、中能登中)のプロジェクト組織体制構築を1年前倒して実施し開校した。これにより地域の方も愛される学校を目指し、共に子どもたちを育てる体制を構築する。	今後も、残り2校の開校に向けて検討を重ねるとともに、開校したモデル校には、積極的な事業を推進しながら、地域の方も愛される学校を目指し、地域と共に子どもたちを育てる体制を構築する。
46	新規	42	地域	手話啓発事業	庁舎窓口への手 話通訳者配置	1	長寿福祉課	庁舎窓口に通訳者1名配置を目指す。	令和6年度	1名	1名	0名	令和元年	常勤0名 (※年間54日 配置)	常勤0名 (※年間51日 配置)	常勤0名 (※年間52日配 置)	常勤0名 (※年間51日配 置)	・総務庁舎・行政サービス庁舎窓口到手話通訳者を設置 【総務庁舎】 24回設置・延べ65人利用 【行政サービス庁舎】 27回設置・延べ47人利用  【人材育成・普及啓発等】 手話奉仕員養成事業(入門7人・基礎3人) 一般町民・小学生を対象とした手話講座を実施	町正規職員採用募集や手話サークル等を通じて声かけを行っているが人材が見つからず、採用出来ていない現状であるが、引き続き募集等を行っていく。また、将来を見据えた人材育成、確保のためにも、手話奉仕員養成事業の取り組みを継続していく。

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No	頁	分類	具体的施策事業名	目標項目	施策数	担当課	数値・内容目標	達成年度	目標値 目標内容	達成年度の設定	目標内容の 現在の数値・内容	同左数値の 現況年度を明記	KPI(重要業績評価指数)実績				令和5年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の 今後の方針などを明記
													令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
47	継続	42	地域	介護予防事業	介護予防事業実施会場数	1	長寿福祉課 介護予防事業実施会場数 (地域つながりサロン、いきいき百歳体操、シルリハ体操教室)	R6年度	68か所	R6年度までに68か所	60か所	令和元年度	71か所	73か所	86か所	91か所	【通いの場の会場数・延べ参加人数】 ・地域つながりサロン 36か所 延べ6,523人 ・いきいき百歳体操 24か所 延べ 9,328人 ・シルバーリハビリ体操 31か所 延べ 1,155人 計91か所 延べ17,006人	目標は到達しているが、ひきつづき、地域の支え合いや高齢者の健康づくり・介護予防のために「通いの場」「居場所づくり」を推進していく。
48	継続	42	地域	認知症地域支援の推進	認知症サポーター数	1	長寿福祉課 認知症サポーター数の養成	R6年度	3,550人	R6年度までに3,550人 R3年度 2,897人 R4年度 3,197人 R5年度 3,497人 R6年度 3,497人	2,300人	令和元年度	2,593人	2,861人	3,230人	3,570人(+340)	【認知症キャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座の開催】 ・個人向け講座 ・鹿西高校1年生 ・鹿西小学校4年生 ・鳥屋小学校4年生 ・鹿島小学校4年生 ・アルプラザ鹿島社員向け講座 計13回、参加人数340人	毎年、継続して講座を開催することにより、着実にサポーター数を増やし、目標は達成している。今後も、認知症の人ができる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域をつくるために、認知症に関する正しい知識や対応の普及啓発や、サポーターが地域で活躍できる取り組みを推進していく。
49	新規	43	地域	中能登町運転免許証自主返納支援事業	免許返納者の年間利用数	1	総務課 1200回 免許返納者の年間利用数	R6年度	1200回 平均	令和6年度までに1200回	1063回	平成30年度	1210回	1170回	1220回	990回	免許返納時、返納者への回数券交付(総務課)	引き続き、返納者や返納予定者への周知を図り、公共交通の利用促進の啓蒙を実施する。
50	継続	43	地域	史跡石動山の発掘調査報告書の作成	史跡石動山の発掘調査報告書の作成	1	生涯学習課 埋蔵文化財調査報告書(調査概要年度分)作成	令和6年度	埋蔵文化財調査報告書(調査概要年度分)作成	令和6年度までに報告書作成	資料収集・整理	令和元年度	資料の収集と整理を継続実施	資料の収集と整理を継続実施	資料の収集と整理を継続実施	資料の原稿作成	資料の収集と整理を継続実施。 史跡整備された復元建物や展示遺構の状況の確認。 史跡内の県指定建造物伊須流岐比古神社拝殿の保存修理に向けた図面及び報告書原稿の作成したが、震災により報告書の印刷を実施できなかった。 (遺構)資料の収集、原稿作成 済	今後はKPI達成に向けて、令和6年中に報告書の印刷を実施し、広く町民に閲覧できるよう、町内の図書館などに配置する予定
51	新規	43	地域	獅子舞文化継承事業おにぎり発祥文化継承事業	伝統文化継承事業	1	企画情報課 5件 (令和6年度)イベント	R6年度累計	5件	5件	-	-	0件	1件	2件	2件	11月に開催されたいしかわ百万石文化祭2023にて、「おにぎりルーツ展」を実施し、広くおにぎり発祥の地をアピールしたほか、全国でおにぎりに関わる関係者なども招聘しながらおにぎりの里を発信した。 ●10月29日 おにぎりtheフェス(ラピア鹿島) 405人 おにぎり店「ほんご」 右近由美子氏対談 ●10月15日-11月26日 おにぎりルーツ展(ふるさと創修館) 計2199名来館	KPI達成目標に向けて、町のおにぎり条例に基づき、6月と11月のおにぎりの日を大事にしなが、広くおにぎりの里をアピールしていく。

集計

令和5年度時点

基本的方向 【基本目標】 【横断目標】	達成	5	基本目標 No	No6, No11, No12, No14, No16
	未達成	13		上記以外
具体的施策	達成	24	施策 No	No1, No8, No9, No10, No12-1, No12-2, No14, No15, No20, No22, No23, No24, No25, No27, No29-1, No29-2, No33, No35, No37, No44-1, No44-2, No46, No47, No50
	未達成	38		上記以外